

会津北嶺高校 神指城址において 歴史探訪と清掃ボランティアを実施

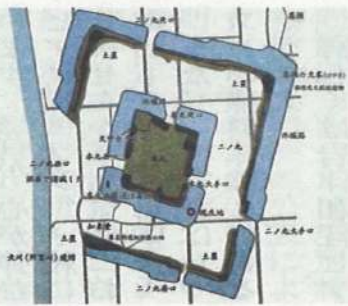
会津北嶺高校では11月1日、神指城址において、歴史探訪・清掃ボランティア活動を実施した。尚、この活動の目的は①神指城の歴史を知る②グラウンド・神指城内の遊歩道を整備することで、愛校心を育む③学年相互の交流作業を通して、思いやりの心と連帯感を育てる④

校外での集団活動を通して、社会生活のルールや公衆道徳を身に付けるなどとなっている。

当日は作業前に、会津古城研究会長などを務める歴史家の石田明夫先生による「神指城の歴史について」の講話があった。「慶長5年（1600年）会津領主上杉景勝は

鶴ヶ城の立地が山に近いことを危惧し、周囲が開けていて大川の水を利用できる神指原（こうざしはら）の地に築城を始めました。しかし、この築城工事が徳川家康に上杉征伐の口実を与え、数ヵ月後の6月10日、家康の会津征伐が間近に迫ったことから工事は中止。神指城は工事途中のまま残され、幻の城となった」との事。「この地は、12年ほど前までは畑が点在して農道が遊歩道として利用できましたが、近年は

耕作されることもなく荒れ放題で、今年も遊歩道が雑草木で閉ざされていました。当校の生徒達の手で本丸を東西に走る遊歩道を再び開通させたことで、年間5000人といわれる訪問者の皆様にも歴史のロマン感じて頂けると思います」と石山校長。※神指城跡図面に○が付いているところに案内板がある。



ところで、同校では、11月16日(土)にオープンスクールを開催する。普通科・機械科自動車コースで、時間帯は9時〜12時。なお、申し込み期限は、11月12日(火)迄。

当日、普通科は、さまざまな体験型授業を準備。機械科自動車コースは、同校生徒による自動車実習の説明と体験学習。なお来年度の募集人員は、普通科が90名、機械科自動車コースが30名となっている。

「当日は、保護者様への学校説明会も同時開催致します」と関係者。詳しくは、同校(☎0242-2211004)迄。

